

5月4, 5, 6日 北ア岳沢定着 前穂高岳  
メンバー ; L谷内、宮坂、倉澤、久保、原、結城 (R&B)

寒気の入り込みによる天候悪化のため計画変更となりましたが、なんとか最終日一日持ってくれ岳沢初デビューの5人と共に前穂山頂を踏んでくることができました。

5/4 小雨～雪～吹雪。終日風強し。

入山予定を一日遅らせ AM5 時茅野発。松本あたりから雨となり 6 : 37 沢渡着。割安率の高い団体扱いでバスに乗り込み上高地へ。高度を上げるにつれ雨から雪へと変わってくる。傘をさしながら 8 : 05 出発。11 時岳沢小屋着。吹雪の中テント設営を終え火器をつけ一息つく。連休前半の暖かさから打って変わって真冬に逆戻りで春山の難しさの一端を体験してもらおう。雪おさまり視界も少し回復してきたこともあり滝沢、奥明神沢、コブ沢、天狗沢の確認、西穂沢方面は積雪少なく取り付きまでのトラバースが大変そうである。夕には晴れ間が出てきて対岸の霞沢も見え明日への期待が膨らんでくるが夜半より再びの降雪、風強まり一晩で 20 センチくらいの降雪となる。

5/5

相変わらずの強風、降雪と新雪雪崩のリスクのため本日のアタックは中止とし、天候の落ち着き始めた午前中は雪訓を行い、日差しの戻った午後は岳沢キャンプ生活を楽しんでもらう。西穂沢には新しい雪崩の跡が遠望され今日は致し方なかったと納得してもらおう。

5/6 快晴、風強くなし

AM2 : 15 起床。星空で月明かりも見え穏やか。3 : 50 奥明神沢に向け本日のトップで出発。ダイレクトルンゼ分岐を確認後、強まる傾斜も適度に締まったバーンにアイゼンがよく効いてくれ皆快調に登行を続ける。ノドの部分は少し岩が出ており安全をきしロープ補助下にクリア。下降時に使えそうなハーケンと残置ひもを確認。その後もひたすら直登を続け 7 : 15 前穂山頂着。皆で感動の握手をかわし大休止。後続の千葉労山岳樺クラブに写真をとってもらった後 7 : 40 下山に移るが、硬めの一直線の急斜面の下降であり本日の核心である。ノドはロープをだし懸垂で下降。奥明神沢下 1/4 ぐらいからグサリ始めた感じで、今朝の早立ちは正解であった。9 : 40 天場帰着。撤収後 10 : 20 下山。春の陽気で暑いくらいである。12 : 10 上高地着。悪天続きであった爲か GW らしい混雑は全くなくスムーズに帰路につけた。